

新しい歴史教科書をつくる会

つくる会 FAX 通信

第 261 号 平成 21 年(2009 年) 8 月 12 日(水) 送信枚数 1 枚

TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048 <http://www.tsukurukai.com>

『天皇論』でシンポジウムを開催！ 11月3日(文化の日)東京・星陵会館大ホールで 小林よしのり・長谷川三千子・高森明勅3氏が登壇

新しい歴史教科書をつくる会は、来る11月3日に東京・星陵会館大ホールにおいて、シンポジウムを開催することを決定しました。テーマは『天皇論』です。

シンポの概要は下記のとおりですが、入場申し込みの要領等詳細については、『史』9月号(9月10日発送予定)でお知らせします。

画期的なシンポジウムになると思いますので、小林よしのり氏の『天皇論』(小学館)をあらかじめ読まれた上で、ご参集くださるようお願いいたします。

新しい歴史教科書をつくる会シンポジウム
日本人にとって「天皇」とは何か
小林よしのり氏『天皇論』をめぐって

戦後60余年の永きにわたり、「天皇」というテーマは、すべての日本人にとって回避できない切実な意味を持ちながら、正面から真剣に取り組まれたことはほとんどなかった。

軽薄な好奇心の対象になるのであれば、左・右の極端な言説が飛び交うことで、多くの国民の無関心を増幅するだけだった。

だが、御即位20年・御成婚50年の今年、「天皇」をめぐる新たなステージが用意される。あらゆる予断と偏見を排し、日本人のたしなみと言論のマナーをわきまえつつ、大胆かつスリリングな討議を提起する。

〔登壇者〕

小林よしのり氏 「わしが『天皇論』を描いた理由」
長谷川三千子氏 「新しい日本の神学を目指して」
高森 明勅氏 「世界に冠たる日本の皇室」

日 時 平成21年11月3日(文化の日)13時30分～16時
会 場 東京都千代田区永田町「星陵会館大ホール」(定員400名・先着順)
会 費 2000円(会員1600円 事前予約が必要です)